



シリーズ 考えよう！公共施設等の未来①

「公共施設等総合管理計画」を策定します

■問い合わせ 行財政改革推進室 Tel 23-3023

将来の公共施設等について検討します

安来市はこれまで住民サービス向上や住民ニーズに応えるため、学校や福祉施設等の公共施設や道路・水道等のインフラ施設（以下「公共施設等」という。）の整備を進めてまいりました。

近年、公共施設等の老朽化問題への対策が全国的な課題となっており、国から地方公共団体に対し、所有する公共施設等の状況を把握し、施設や環境の将来見通しを分析した上で、管理に関する基本的な方針を定めるよう要請がありました。

安来市としても将来の公共施設等の最適化を図るため、平成28年度中の「公共施設等総合管理計画」策定に向け、作業を行っています。

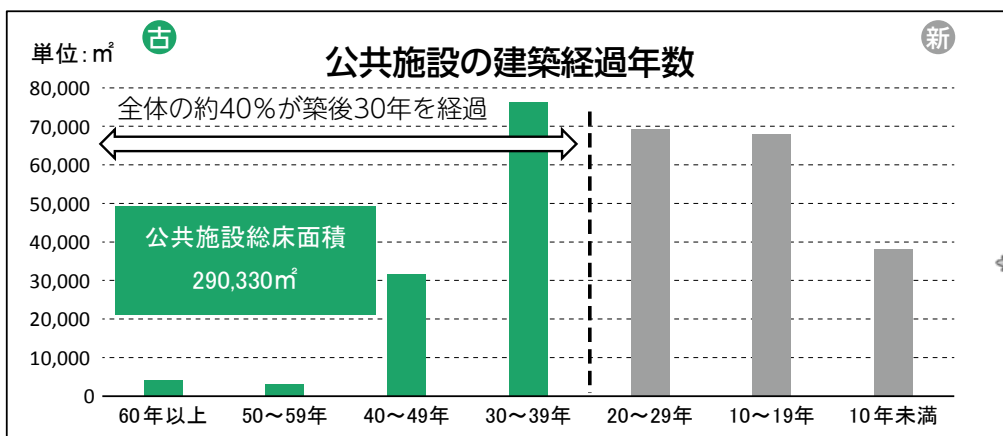
公共施設等とは？

公共建築物のほか、インフラ施設を含めた施設全般をいいます。具体的には、学校、交流センター、消防、衛生施設のほか、道路・橋りょう等の土木構造物、特別会計の施設（上水道、病院等）等も含めます。



今後、多くの施設で改修や更新が必要になります

合併により旧1市2町が保有していた公共施設等を新市に引き継いだこともあり、同種・同機能の施設を数多く保有している状況です。これらの施設は今後大規模な改修や更新を必要とし、多額の施設更新費用や改修費が必要となります。一方、人口減少や少子高齢化の進行による利用者の減少、住民サービスや住民ニーズの変化など、公共施設等を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。



一般的に築後30年を経過した公共施設は大規模改修が必要とされ、今後改修が必要な施設が増えていきます。改修に多額の予算が必要となれば、今後の市の財政運営に大きな影響を及ぼします。公共施設等が将来、市の負担にならないための取り組みを検討する必要があります。

計画の策定にあたり、今月号から安来市の公共施設等の状況をシリーズでお知らせします。

